



や ま むらさきに う み あ お く

山 紫 海 碧

第27号

東村立有銘幼・小学校

令和4年11月8日(火)

発行者:園長・校長 平良 智

「慶佐次の自然を守れ！」



特定外来生物

ツルヒヨドリ除去体験

みなさん、「ツルヒヨドリ」をご存じてしょうか？

「うん？ツルヒヨドリ？」それは「鶴のようなヒヨドリ…？」いえいえ、違います。これは、特定外来生物の一つで、南北アメリカの熱帯地域を原産地とする「つる性の植物」です。この度、本校三・四年生が総合的な学習の時間で、その植物の除去作業を体験しました。

現在、慶佐次地域のマングローブ林について学んでいる三・四年生ですが、この度やんばるの豊かな自然を脅かす植物が、私達の慶佐次にも侵略していることを知り、その除去作業をぜひお手伝いしたいということになったのです。

この植物は、一九八四年にうるま市の天願川で発見されたのが最初で、一分に一マイル広がる雑草の異名を持つほど勢力が強く、つるでからみつきながら猛烈な勢いで拡がり、マント状に在来種に覆い被さっていくそうです。

子供達は、沖縄地域コンサルタント株式会社の職員のみなさんから、この植物の見極め方を学び、根っこから茎まで丁寧に除草体験を行いました。貴重な体験となりました。



慶佐次川上流付近、いざ出発！



しっかり説明を受け、除去作業スタート！



袋いっぱいのツルヒヨドリ、任務完了！



帰りもしっかり足下洗浄、種を移動させません！